
HDD TWAINドライバ

ユーザーズガイド

目次

1	はじめに	
1.1	動作環境	1-1
2	HDD TWAIN ドライバのインストール	
2.1	インストール方法	2-1
	インストールの手順	2-1
2.2	アンインストールする場合	2-1
3	画像の取出し	
3.1	取出しの手順	3-1
	取出しの手順	3-1
3.2	ユーザ認証が必要な場合	3-5
	ユーザ認証を行う	3-5
3.3	部門認証が必要な場合	3-6
	部門認証を行う	3-6
3.4	メインダイアログ画面の設定	3-7
3.5	メインダイアログ画面の表示	3-8
3.6	設定画面でできること（スキャン）	3-9
3.7	設定画面でできること（画質改善）	3-10
4	読み込み先の機器を選択する	
	読み込み先の機器を選択する	4-1
5	読み込み先の機器を新しく登録する	
	読み込み先の機器を新しく登録する	5-1
5.1	認証情報を確認する	5-5
6	読み込み先のボックスを変更する	
	読み込み先のボックスを変更する	6-1

本製品について

HDD TWAIN ドライバは、スキャンモード、ファクスモードでボックスに保存したドキュメントのデータをパソコンの画像処理アプリケーションソフトウェアに取り込み、加工や編集をすることができます。

よく使用するボックスの番号やパスワードをあらかじめ登録しておくことで、入力の手間を省くこともできます。

ドキュメントを取出したときにボックスのデータを削除することもできます。

登録商標および商標

商標について

Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA® BSAFE™

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。



ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について

本書に掲載する画面は、Windows XP の画面を使用しています。



ワンポイント

装置や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]



1 はじめに

1.1 動作環境

このソフトウェアを使うには、あらかじめパソコンに以下のソフトウェアをインストールしてください。

- TWAIN 対応した画像処理アプリケーションソフトウェア

対応 OS	Windows 2000 Professional (SP4)、Windows XP Home Edition (SP2)、Windows XP Professional (SP2)、Windows NT4.0 (SP6a)、Windows Vista Home Basic/Home Premium /Ultimate /Business /Enterprise、Windows Vista Home Basic/Home Premium /Ultimate /Business / Enterprise x64 edition
コンピュータ	OS の仕様に準ずる
メモリ	OS の仕様に準ずる
ネットワーク	TCP/IP プロトコルの設定が正しく行われているコンピュータ
ハードディスク	20 MB 以上の空き容量が必要

2 HDD TWAIN ドライバのインストール

2.1 インストール方法

HDD TWAIN ドライバのインストールは以下の手順で行います。
インストールには付属の User Software CD-ROM が必要です。

インストールの手順

- 1 パソコンの電源を入れて Windows を起動します。
- 2 パソコンの CD-ROM ドライブに User Software CD-ROM をセットします。
CD のメニューが表示されます。
- 3 「スキャナのインストール」から「HDD TWAIN ドライバ」を選択し、画面の指示に従って操作します。
インストールが開始され、必要なファイルがコピーされます。
コピーが終了すると、インストールの完了画面が表示されます。
- 4 [完了] をクリックします。
HDD TWAIN ドライバのインストールが終了しました。

2.2 アンインストールする場合

HDD TWAIN ドライバをアンインストールするには、以下の 2 つの方法があります。

- 「プログラムの追加と削除」(Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」) を使用する
- 「Setup.exe」をもう一度実行する



ご注意

アンインストールを行うときは、HDD TWAIN ドライバを終了しておいてください。

3 画像の取出し

3.1 取出しの手順

画像の取出しは、TWAIN ドライバに対応した画像処理アプリケーションソフトウェアから行います。ここでは Adobe Photoshop の例で説明します。



...
ご注意)

コピーモード、プリントモードでボックスに保存したドキュメントやシステムボックスのドキュメントは取出すことができません。



...
ご注意)

MFP 側でボックス蓄積文書の操作を禁止するよう設定されている場合、HDD TWAIN ドライバで画像を取出すことができません。

取出しの手順

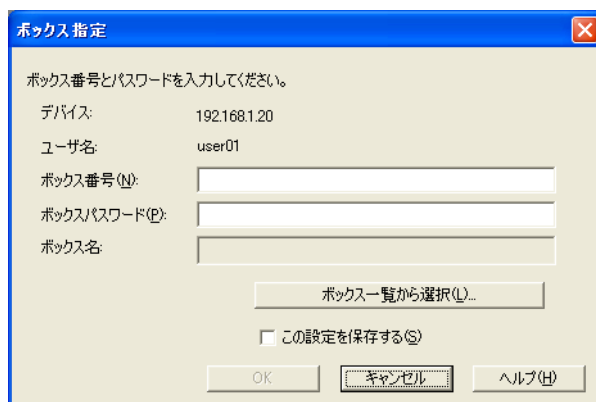
- 1 画像処理アプリケーションソフトウェアを起動します。
- 2 [ファイル] メニューから [読み込み] を選択し、お使いの機器を選択します。
 - アプリケーションによっては、あらかじめ「TWAIN 対応機器の選択」メニューでお使いの機器を選択してください。デバイス選択画面が表示されます。

3 接続する機器を選択し、「接続」をクリックします。



- MFP 側でユーザ認証や部門認証を設定している場合、それぞれの認証画面が表示されます。詳しくは、「ユーザ認証が必要な場合」(p. 3-5)、「部門認証が必要な場合」(p. 3-6) をご覧ください。
- ログインするユーザーに対して、ボックス蓄積文書の操作を禁止するよう MFP で設定されている場合、画像を取出すことができません。

ボックス指定画面が表示されます。



4 ボックスの情報を入力します。

- 「この設定を保存する」にチェックを付けると、登録リストに接続先のデバイスおよびボックスの情報が追加されます。
- ボックス番号を指定します。「ボックス番号」にボックス番号を直接入力するか、「ボックス一覧から選択」をクリックして一覧からボックスを選択します。
- 「ボックスパスワード」に、ボックスに設定されているパスワードを入力します。

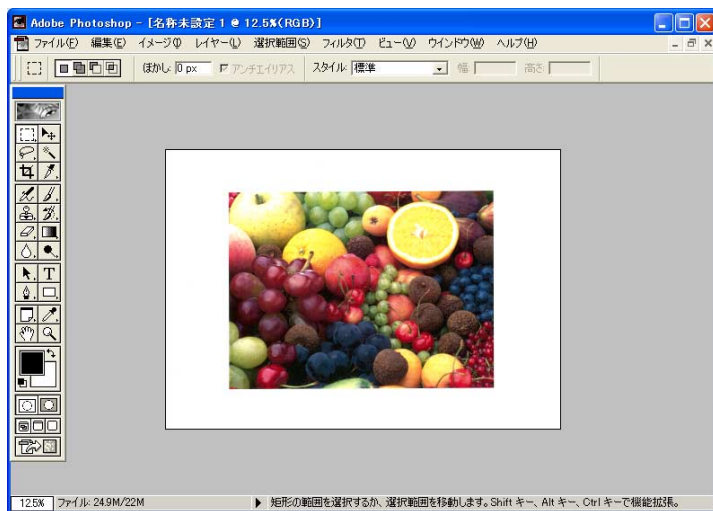
5 [OK] をクリックします。

- メインダイアログ画面の詳しい説明については、「メインダイアログ画面の設定」(p. 3-7) をご覧ください。
メインダイアログ画面が表示されます。



- 6 ドキュメントをクリックして選択し、「読み込み」をクリックします。

ドキュメントのデータがアプリケーションソフトの画面に表示されます。



3.2 ユーザ認証が必要な場合

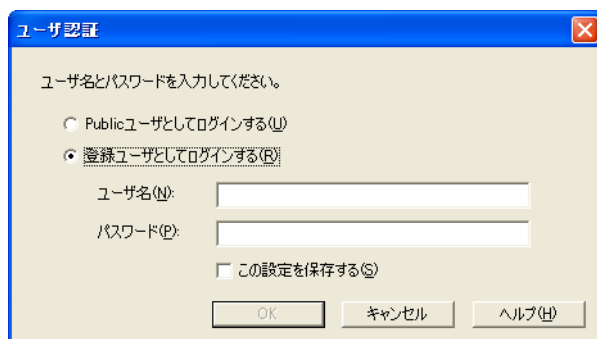
メインダイアログ画面を開く前に、ユーザ認証画面が表示されることがあります。

ユーザ認証にはあらかじめ設定されたユーザ名とパスワードが必要です。

詳しくは管理者にお問合わせください。

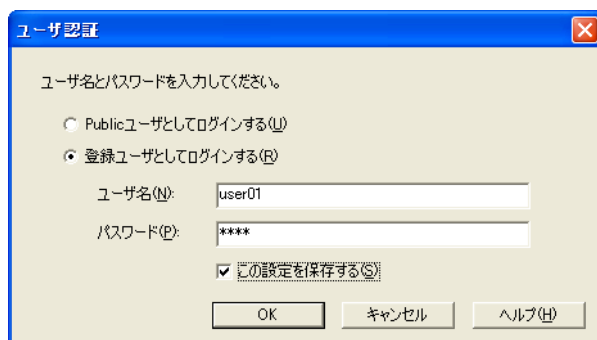
ユーザ認証を行う

- 1 「登録ユーザとしてログインする」を選択します。



- ユーザ認証の設定時に、パブリックユーザが認められている場合には、ユーザ名、パスワードを入力せずに使用できます。「Public ユーザとしてログインする」を選択してください。
- 入力した情報を保存する場合は「この設定を保存する」にチェックを付けます。次のアクセスからユーザ名の入力をしなくてもアクセスできるようになります。

- 2 ユーザ名、パスワードを入力して「OK」をクリックします。



- MFP のユーザ認証設定で外部サーバ認証を選択し、複数のドメインを登録している場合、ユーザ名の後ろに「@ ドメイン名」を入力してください。例：ユーザ名が user01、ドメイン名が domain の場合：user01@domain

3.3 部門認証が必要な場合

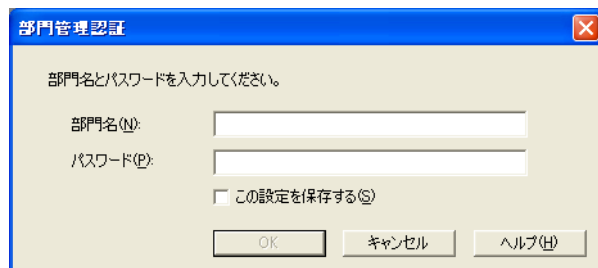
メインダイアログ画面を開く前に、部門認証管理画面が表示されることがあります。

部門認証にはあらかじめ設定された部門名とパスワードが必要です。

詳しくは管理者にお問合わせください。

部門認証を行う

- 1 部門名、パスワードを入力します。



部門管理認証

部門名とパスワードを入力してください。

部門名(N):

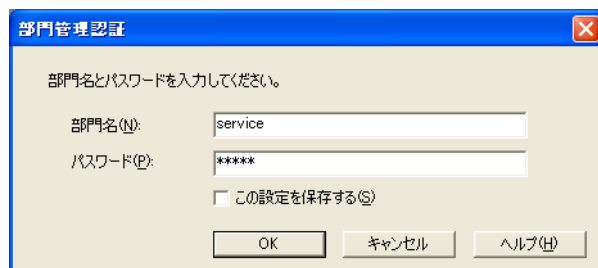
パスワード(P):

☐ この設定を保存する(S)

OK キャンセル ヘルプ(H)

- 入力した情報を保存する場合は「この設定を保存する」にチェックを付けます。次回のアクセスから部門名の入力をしなくてもアクセスできるようになります。

- 2 [OK] をクリックします。



部門管理認証

部門名とパスワードを入力してください。

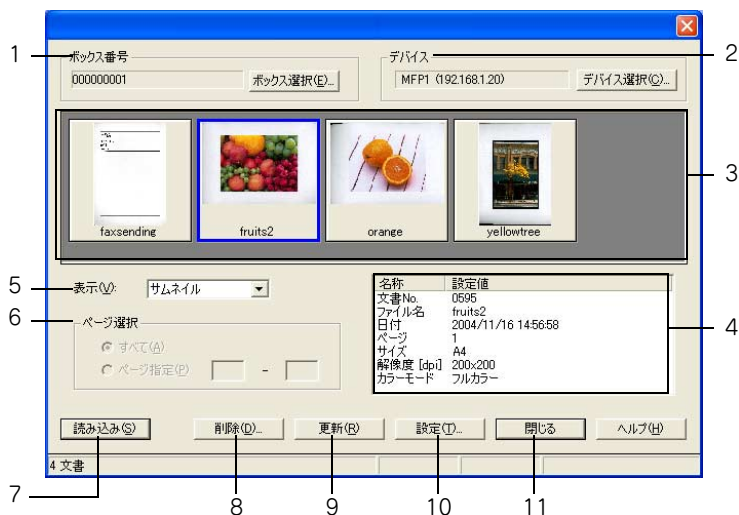
部門名(N):

パスワード(P):

☐ この設定を保存する(S)

OK キャンセル ヘルプ(H)

3.4 メインダイアログ画面の設定



メインダイアログ画面で設定できる項目は以下のとおりです。

No.	項目	説明
1	ボックス番号	現在選択しているボックス番号を表示します。ボックス番号を変更するときは「ボックス選択」をクリックしてください。
2	デバイス	現在選択している機器の IP アドレスや名称を表示します。変更するときは「デバイス選択」をクリックしてください。
3		ボックスに保存されているドキュメントの情報が表示されます。
4		サムネイル表示のとき、選択しているドキュメントの情報が表示されます。
5	表示	表示の方法を切替えます。
6	ページ選択	ドキュメントの全てのページを読み込むか、ページ範囲を指定するかを選択します。ページ範囲を指定するときはページ数を入力します。
7	「読み込み」	選択したドキュメントの読み込みを開始します。
8	「削除」	選択したドキュメントを削除します。
9	「更新」	ボックス内のドキュメント情報を最新の状態に更新します。
10	「設定」	読み込みの画像に関する設定を行います。詳しくは、「設定画面でできること（スキャン）」(p. 3-9) および「設定画面でできること（画質改善）」(p. 3-10) をご覧ください。
11	「閉じる」	読み込みを行わずに画面を閉じます。

3.5 メインダイアログ画面の表示

メインダイアログ画面は、使い方によって 2 種類の表示をさせることができます。



ひとこと

ログインしているユーザーまたは部門に対して、カラードキュメントの送信を禁止するよう MFP で設定されている場合、カラードキュメントおよびカラー・グレーの混載ドキュメントは表示されません。



ひとこと

MFP によっては、コンパクト PDF 形式のドキュメントが取得できない場合があります。

- リスト表示：
ボックス番号、ファイル名などをリストにして一覧表示します。
「表示」で「リスト」を選択すると表示できます。

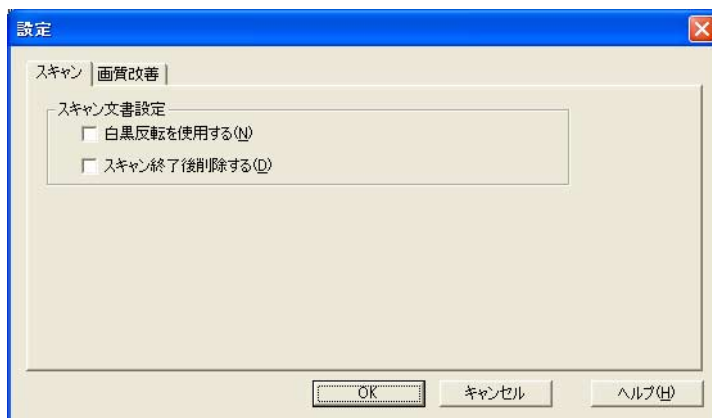


- サムネイル表示：
ドキュメントの最初のページをサムネイル画像で表示します。右下には表示されているサムネイルの文書番号、ファイル名、日付などの情報が表示されます。
「表示」で「サムネイル」を選択すると表示できます。



3.6 設定画面でできること（スキャン）

設定できる項目は以下のとおりです。設定したい項目にチェックを付けて [OK] をクリックしてください。



項目	説明
白黒反転を使用する	白黒（1bit）データのときに選択できます。原稿の白い部分と黒い部分を反転して読みます。
スキャン終了後削除する	パソコンにデータを読み込んだあと、ボックスのドキュメントデータを削除します。

3.7 設定画面でできること（画質改善）

設定できる項目は以下のとおりです。項目を設定し、[OK] をクリックしてください。



項目	説明
一括画質改善	チェックを付けると、画質改善で設定できる全ての画質調整を自動的に行います。
コントラスト補正	コントラストの強さを選択します。
下地色除去	下地色除去の強さを選択します。
裏写り除去	裏写り除去の強さを選択します。
網点除去	網点除去の強さを選択します。
傾き補正	画像の傾きを自動的に調整します。

4 読み込み先の機器を選択する

ネットワーク上で読み込み可能な機器を探し、選択します。初めてネットワーク上で検索をするときや、新しく追加された機器を探すときなどに使用します。

読み込み先の機器を選択する

- 1 メインダイアログ画面を表示させます。
 - メインダイアログ画面を表示させる方法については「取出しの手順」(p. 3-1) をごらんください。



- 2 「デバイス選択」をクリックします。
デバイス選択画面が表示されます。

- 3 機器の選択の方法を指定します。「検索結果から選択」を選択します。
- ネットワークを自動的に検索し、結果が表示されます。



- 4 機器名をクリックして選択し、「接続」をクリックします。
- 接続するときに登録もしてしまうときは「接続時に登録リストへ追加する」にチェックを付けます。「登録リスト」にこのときの接続先が追加されます。
- デバイス選択画面が閉じて、メインダイアログ画面にもどります。

5 読み込み先の機器を新しく登録する

現在つながっている機器をリストに登録できます。接続のたびに検索する時間を省くことができます。

リストに登録できる機器の数は 20 個までです。

読み込み先の機器を新しく登録する

- 1 メインダイアログ画面を表示させます。
 - メインダイアログ画面を表示させる方法については「取出しの手順」(p. 3-1) をご覧ください。



- 2 「デバイス選択」をクリックします。
デバイス選択画面が表示されます。

3 「登録リストから選択」を選択します。



4 「追加」を選択します。

接続先設定画面が開きます。



5 機器の情報を入力します。

接続先設定

名称(M):

スキャナ(必須)

IPアドレス(ホスト名)(A):

ユーザボックス(オプション)

ボックス番号(N):

ボックスパスワード(P):

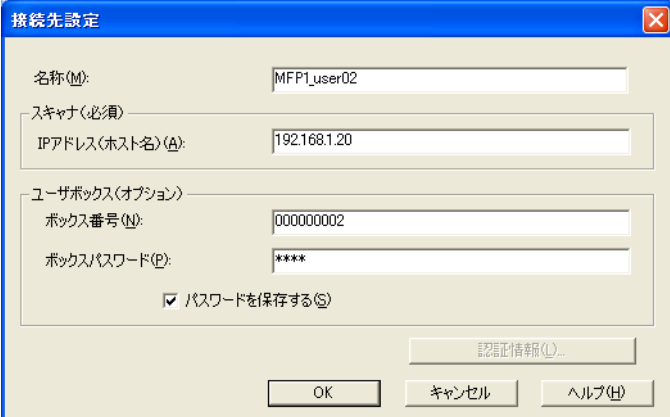
☐ パスワードを保存する(S)

認証情報(L)...

OK キャンセル ヘルプ(H)

- 「名称」には、機器の名称を入力します。
- 「IP アドレス (ホスト名)」には、機器の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- 「ボックス番号」には、読み込むボックス番号を入力します。
- ボックスにパスワードが設定されている場合、「ボックスパスワード」にパスワードを入力します。先に「パスワードを保存する」にチェックを付ける必要があります。
- ボックスのパスワードを保存する場合、「パスワードを保存する」にチェックを付けます。
- ユーザ認証、部門認証などが設定されている場合、「認証情報」をクリックすると、認証情報を確認できます。

- 6 [OK] をクリックします。
登録した情報がリストに追加されます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "接続先設定" (Connection Destination Setting). It contains several input fields and a checkbox. The fields are: "名称(M):" with the value "MFP1_user02", "IPアドレス(ホスト名)(A):" with the value "192.168.1.20", "ボックス番号(N):" with the value "0000000002", and "ボックスパスワード(P):" with the value "*****". There is a checkbox labeled "パスワードを保存する(S)" which is checked. At the bottom right, there is a button labeled "認証情報(L)...". At the bottom center, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ(H)" (Help).

名称(M):	MFP1_user02
IPアドレス(ホスト名)(A):	192.168.1.20
ボックス番号(N):	0000000002
ボックスパスワード(P):	*****
<input checked="" type="checkbox"/> パスワードを保存する(S)	
認証情報(L)...	
OK	キャンセル ヘルプ(H)

5.1 認証情報を確認する

接続先追加画面で「認証情報」をクリックすると、登録されている認証情報が表示されます。

項目	説明
ユーザ認証	ユーザ認証のユーザ名とパスワードが表示されます。パスワードは「****」で表示されます。
部門管理	部門認証の部門名とパスワードが表示されます。パスワードは「****」で表示されます。
認証情報をクリア	現在設定されている認証情報をクリアするときにクリックします。

6 読み先のボックスを変更する

現在アクセスしているデバイスの、他のボックスを参照します。

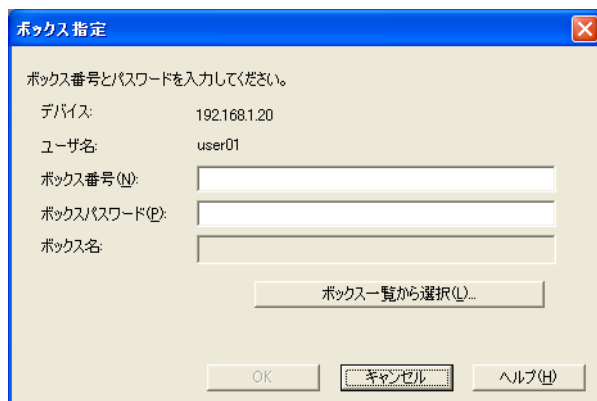
読み先のボックスを変更する

- 1 メインダイアログ画面を表示させます。
 - メインダイアログ画面を表示させる方法については「取出しの手順」(p. 3-1) をご覧ください。

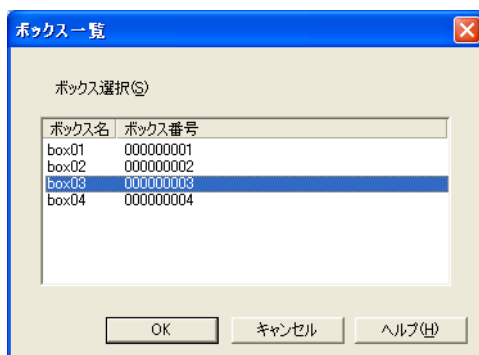


- 2 「ボックス選択」をクリックします。

3 読み込むボックスの情報を入力します。



- ボックス一覧から選択するときは「ボックス一覧から選択」をクリックし、リストからボックスを選択して「OK」をクリックします。



4 「OK」をクリックします。

選択したボックスのデータが表示されます。

